

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年11月13日  
東

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,666	△2.0	△122	—	△106	—	△115	—
25年3月期第2四半期	4,762	△1.1	△34	—	△55	—	△98	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △43百万円( —%) 25年3月期第2四半期 △113百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△12.64	—
25年3月期第2四半期	△10.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,282	7,734	74.8
25年3月期	10,523	7,823	74.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,693百万円 25年3月期 7,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	4.2	120	—	140	—	100	—	10.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,382,943株	25年3月期	9,382,943株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	224,069株	25年3月期	223,888株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	9,158,977株	25年3月期2Q	9,159,330株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスへの期待や、金融緩和により円高是正と株高が進み景気回復に向けて明るい兆しが見られるようになってまいりました。

このような状況の中、当社グループは穀物相場の高止まりや円安による原材料調達価格の上昇、重油やLPガス等の燃料の高騰など自助努力では吸収できない部分を販売価格へ転嫁すべく、主力事業の凍豆腐、加工食品を中心とした収益構造の改善に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は46億6千6百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、業界のリーダーシップをとり、他社に先行し売上原価の高騰分を販売価格へ転嫁できるよう交渉を進めており、同時に販売促進費の削減を販売先へ依頼してまいりました結果、夏場の記録的な猛暑も重なり販売数量は減少し、売上高は18億4千9百万円（前年同四半期比3.7%減）と減少いたしました。なお、当社食品研究所が長年研究を行ってきました、凍豆腐が持つ中性脂肪上昇抑制作用やコレステロール低下作用などの健康機能性について、業界団体を通じ広報活動を行うなど、市場の維持拡大に努めました。加工食品においては、袋入りで減塩タイプの徳用品や好評を得ていた納豆汁の徳用品を発売し、3食タイプ主力品のリニューアルを行いました。カップ入りでは具材をリニューアルした商品を発売するなどの販売活動を行いました。しかしながら、凍豆腐と同様に販売促進費の削減や猛暑もあり、売上高は20億円（前年同四半期比4.0%減）となりました。その他の食料品では医療用食材などが堅調に推移しており、売上高は7億9千9百万円（前年同四半期比7.7%増）と増加いたしました。

利益面では、売上原価上昇分の販売価格への転嫁は遅れており、販売数量も一時的に減少しているため、営業損失1億2千2百万円（前年同四半期は3千4百万円の損失）、経常損失1億6百万円（前年同四半期は5千5百万円の損失）、四半期純損失は1億1千5百万円（前年同四半期は9千8百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ2億4千1百万円減少し、102億8千2百万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、製造設備の維持更新などにより有形固定資産が1億8千3百万円増加したものの、現金及び預金が2億6千5百万円、受取手形及び売掛金が2億4千5百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ1億5千1百万円減少し、25億4千8百万円（前連結会計年度比5.6%減）となりました。負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少8千2百万円、未払金の減少1億3千7百万円があったことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度に比べ8千9百万円減少し、77億3千4百万円（前連結会計年度比1.2%減）となりました。これは当第2四半期純損失1億1千5百万円の計上や剰余金の配当4千5百万円を行ったことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.8ポイント増加し、74.8%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は3千8百万円であります。

資金の増加の主な要因は、仕入債務の減少額9千3百万円、未払金の減少額1億7千万円があったほか、たな卸資産の増加額が5千1百万円あったものの、売上債権の減少額が2億5千万円あったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が7千3百万円増加しております。この主な要因は、売上債権の増減差額5千9百万円、仕入債務の増減差額4千2百万円、未払金の増減差額3千万円などの流入減少があったものの、棚卸資産の増減差額で2億1百万円流入増加となったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、2億6千5百万円であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2億2百万円、無形固定資産の取得による支出6千5百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が1億6千9百万円増加しております。この主な要因は、定期預金の払戻と預入の差額が1億円減少し、有形固定資産の取得による支出が3千6百万円増加したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、4千2百万円であります。

資金の減少の主な要因は、配当金の支払による減少額4千5百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が3億2千万円減少しております。この主な要因は、長期借入金の返済による支出の減少で2億4千9百万円の流入となり、配当金の支払額の減少で4千5百万円の流入となったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ2億6千5百万円減少し、9億5千2百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、予想に比べ売上原価の上昇分の販売価格への転嫁は遅れているものの、年末の需要期に向け広告宣伝活動も含めた販売強化の施策を実施していくため、現時点において平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,459	2,107,404
受取手形及び売掛金	2,194,575	1,949,141
たな卸資産	1,124,276	1,186,128
繰延税金資産	2,019	2,553
その他	158,422	111,880
貸倒引当金	△1,857	△1,323
流動資産合計	5,849,896	5,355,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,583,073	5,637,491
減価償却累計額	△4,219,824	△4,271,451
建物及び構築物(純額)	1,363,249	1,366,040
機械装置及び運搬具	7,340,590	7,384,341
減価償却累計額	△6,434,117	△6,381,606
機械装置及び運搬具(純額)	906,472	1,002,735
土地	1,608,881	1,671,643
リース資産	70,520	66,698
減価償却累計額	△52,576	△42,745
リース資産(純額)	17,943	23,952
建設仮勘定	5,627	22,804
その他	440,746	441,945
減価償却累計額	△368,823	△371,317
その他(純額)	71,923	70,627
有形固定資産合計	3,974,098	4,157,803
無形固定資産	144,714	199,657
投資その他の資産		
投資有価証券	456,937	475,141
その他	97,921	93,745
投資その他の資産合計	554,859	568,886
固定資産合計	4,673,672	4,926,347
資産合計	10,523,569	10,282,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	961,818	879,116
短期借入金	33,601	36,648
リース債務	8,133	7,698
未払金	643,433	506,136
未払法人税等	18,349	13,231
賞与引当金	49,179	71,223
設備関係支払手形	19,784	119,542
その他	175,555	143,199
流動負債合計	1,909,855	1,776,796
固定負債		
長期借入金	6,122	10,305
リース債務	10,715	17,460
繰延税金負債	165,931	172,112
退職給付引当金	546,474	510,392
資産除去債務	46,658	46,849
その他	14,100	14,100
固定負債合計	790,001	771,218
負債合計	2,699,856	2,548,015
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,522,377	4,360,835
自己株式	△126,634	△126,683
株主資本合計	7,646,010	7,484,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,606	148,652
為替換算調整勘定	8,230	60,847
その他の包括利益累計額合計	144,837	209,500
少数株主持分	32,864	40,197
純資産合計	7,823,712	7,734,117
負債純資産合計	10,523,569	10,282,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,762,701	4,666,434
売上原価	3,608,186	3,651,085
売上総利益	1,154,514	1,015,348
販売費及び一般管理費	1,188,817	1,137,478
営業損失(△)	△34,302	△122,129
営業外収益		
受取利息	1,813	1,127
受取配当金	3,692	4,438
受取賃貸料	1,058	—
受取保険金	437	—
受取技術料	1,071	—
補助金収入	—	4,473
雑収入	5,376	7,016
営業外収益合計	13,449	17,055
営業外費用		
支払利息	2,205	479
賃貸収入原価	202	—
為替差損	637	481
休止固定資産維持費用	31,459	—
雑損失	148	905
営業外費用合計	34,654	1,866
経常損失(△)	△55,508	△106,940
特別利益		
固定資産売却益	1,029	1,211
投資有価証券売却益	—	1,409
特別利益合計	1,029	2,621
特別損失		
固定資産除却損	6,857	3,974
減損損失	26,466	—
特別損失合計	33,323	3,974
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,802	△108,293
法人税、住民税及び事業税	8,455	6,637
法人税等調整額	946	△671
法人税等合計	9,401	5,965
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,203	△114,259
少数株主利益	908	1,486
四半期純損失(△)	△98,112	△115,746

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,203	△114,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,549	12,045
為替換算調整勘定	5,606	58,463
その他の包括利益合計	△15,942	70,509
四半期包括利益	△113,146	△43,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,615	△51,083
少数株主に係る四半期包括利益	1,468	7,332

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,802	△108,293
減価償却費	269,990	219,089
減損損失	26,466	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	△533
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,574	22,043
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△33,982	△36,081
受取利息及び受取配当金	△5,506	△5,566
支払利息	2,205	479
固定資産売却損益(△は益)	△1,029	△1,211
固定資産除却損	6,857	3,974
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,409
売上債権の増減額(△は増加)	309,382	250,236
未払金の増減額(△は減少)	△140,478	△170,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	△252,428	△51,276
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,384	△93,219
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,692	32,303
その他	32,112	△10,473
小計	△22,065	49,341
利息及び配当金の受取額	5,806	5,749
利息の支払額	△2,222	△522
法人税等の支払額	△16,432	△15,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,914	38,569
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,250,001	△1,050,000
定期預金の払戻による収入	1,350,000	1,050,000
有形固定資産の取得による支出	△166,551	△202,994
有形固定資産の売却による収入	278	1,599
無形固定資産の取得による支出	△30,216	△65,165
投資有価証券の取得による支出	△2,218	△1,913
投資有価証券の売却による収入	—	3,484
貸付けによる支出	△1,200	△2,600
貸付金の回収による収入	2,947	1,792
その他	725	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,235	△265,804

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金を増減額 (△は減少)	△13,269	—
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△252,460	△2,770
リース債務の返済による支出	△6,560	△4,862
自己株式の取得による支出	—	△49
配当金の支払額	△90,792	△45,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363,083	△42,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	442	5,113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△493,790	△265,054
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,616	1,217,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	603,825	952,377

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,746,022	4,746,022	16,679	4,762,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	367	367	—	367
計	4,746,389	4,746,389	16,679	4,763,068
セグメント利益	592,309	592,309	12,850	605,160

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,309
「その他」の区分の利益	12,850
全社費用(注)	△639,463
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△34,302

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、26,466千円の減損損失を計上しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,648,870	4,648,870	17,563	4,666,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	246	246	—	246
計	4,649,116	4,649,116	17,563	4,666,680
セグメント利益	482,066	482,066	12,874	494,941

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	482,066
「その他」の区分の利益	12,874
全社費用(注)	△617,071
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△122,129

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。